

来年度以降の研究主題について

令和5年度～令和7年度

研究主題（案）

※歴代の研究主題

平成17～19年度 高度情報通信社会における情報活用能力の育成

平成20～22年度 ネットワーク社会におけるICT活用能力の育成

平成23～25年度 社会の情報化に主体的に対応する情報活用能力の育成

平成26～28年度 情報技術の進展に主体的に対応し、情報発信できる能力・態度の育成

平成29年度～令和元年度

主体的・対話的で深い学びを通じた、問題の科学的理解・解決に取り組む資質・能力の育成

令和2～4年度 資質・能力の三つの柱に沿った情報活用能力の育成

【参考 新学習指導要領「情報I」 指導目標】

1 目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う

2 内容

(1) 情報社会の問題解決

情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し，情報社会の問題を発見・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(2) コミュニケーションと情報デザイン

メディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し，目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(3) コンピュータとプログラミング

コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し，プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(4) 情報通信ネットワークとデータの活用

情報通信ネットワークを介して流通するデータに着目し，情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを活用し，問題を発見・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。